

助産師が行う「性（生）の楽習講座」の計画的な実施検討（案）

しまねの未来を担うたくましい子どもの育ちの実現を目指し、これまで、学校教育において、教科等の基礎基本の定着をはじめとした確かな学力を身につけるとともに、男女が協力して家庭を築くこと及び子どもを産み育てることの意義など、充実した教育内容及び教育環境を提供してきた。

こうした取り組みの成果を踏まえ、今後、次世代を担う児童や生徒が、生命の尊さや家庭の意義などについて、さらに理解が深まるよう、教育委員会と連携し、生命誕生の現場に携わる助産師による「性（生）の楽習講座」を計画的に実施する。

■ 経緯

- ・H14年10月～H25年3月までの取り組み：計730回（参加者延べ48千人）
- ・各圏域別回数計（11年間）松江42，出雲497，雲南90，大田53，浜田20，益田9
- ・実施主体：県助産師会バースディプロジェクト事務局
- ・助産師派遣に伴う経費の捻出：出雲市は市単独事業で対応

■ 講座の概要

- ・助産師の仕事
- ・自分たちが生まれてきたことを知る（あなたが生まれてみんなが喜んだ“大切ないのち”）
- ・これからの命を見つめる（受け継がれていく“いのち”のつながり）
- ・デートDV
- ・将来の夢

■ 計画的な推進方法（案）

- 県内において、計画的な取り組みの推進を図るため、県（少子化対策推進室）と県助産師会との間で業務委託契約を締結し、実施。
- H26年度実施に向けて、国の地域少子化対策強化交付金（内閣府：補助率10/10）を活用し、実施。
- H27年度以降の対応に向けては、子ども子育て支援推進会議において策定する「県子ども・子育て支援事業支援計画」の重点施策に位置づけることを検討し、取り組みの推進を図る。



講義「命の誕生まで」



出産の様子



妊娠疑似体験



赤ちゃんのだっこ



命のリレー